

大地震！こうして身を守ろう—自分の命は自分で守る—

池田 正・中川康一・柴山元彦・平岡由次・芝川明義

東日本大震災から1年7か月過ぎた今も、多くの人たちがひなん生活をしています。地震前の生活にもどることができない人がたくさんいます。私たちの暮らす大阪や近き地方でも近いしょうらいに、大きな地震が起きると言われています。地震や津波からどのように身を守ればよいのでしょうか？

地震が起こったときの正しい行動について、みんなで考えてみましょう。

ここでクイズです。次のことは正しいのでしょうか？

Q. 1 学校から帰る時、とつぜん地面がぐらぐらとゆれはじめました。

ランドセルやカバンを頭の上にのせて体を守る。

Q. 2 スーパーマーケットにお買い物に行っている時、地面がぐらぐらとゆれはじめました。

商品をならべた大きなたなのそばにひなんして、ゆれがしずまるのをまつ。

Q. 3 学校の授業中に、とつぜん教室がぐらぐらとゆれはじめました。

すぐに窓のそばにひなんして、ゆれがしずまるのをまつ。

答えは会場でみんなで考えましょう。

東日本大震災の時には、たくさんの方が津波に襲われ、命を失いました。津波から命を守るにはどうすればよいか、考えてみましょう。

大阪も昔から何度も大きな地震が起こってきました。多くの人の命がうばわれたり、家がつぶれたりしました。



津波でたくさんの方がなくなったこともあります。

地震が起こった時にどうすればよいのかを知っておくことで、実際に

地震が起こった時に自分の命を守ることができるようにしましょう。

日頃からひなん訓練についても、しっかりと聞いて知っておきましょう。

